

2024年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

8月25日(日)

※報告時間は17分、質疑応答は8分です。

第1会場(講堂)		
時間	座長	タイトル・報告者
09:00 09:25	(農林水産政策研 究所) 若松宏樹	1-1. Rethinking the quota system in Japanese small-scale fisheries: an interactive governance analysis Yinji Li (Tokai University)・Ratana Chuenpagdee (Memorial University of Newfoundland, Canada)
09:25 09:50		1-2. サンマ棒受け網漁業の技術効率性分析 廖凱・中原尚知・松井隆宏・婁小波 (東京海洋大学)
09:50 10:15	(専修大学) 小川健	1-3. 資源評価結果と個別データのずれに関する考察 岩田繁英 (東京海洋大学)
10:15 10:40		1-4. 伊勢湾周辺の気象、海況変動と愛知県のスラス漁獲量変動との関連性 山田二久次 (三重大学)・小山新 (前三重大学)
10:40 10:50	休憩	
10:50 11:15	(東京海洋大学) 松井隆宏	1-5. 陸上養殖事業を核としたコモングの利用と生成の循環モデルー静岡県三保地区の事例よりー 渡邊将介 (日建リース工業株式会社) ・小川美香子 (東京海洋大学)
11:15 11:40		1-6. 近年の水産白書に応じた水産経済学の教科書の必要性 小川健 (専修大学)
11:40 12:05		1-7. 漁業協同組合の合併促進に関する政策の効果分析 岡彩子 (東京海洋大学大学院)・婁小波 (東京海洋大学)

※報告時間は17分、質疑応答は8分です。

第2会場(第二会議室)		
時間	座長	タイトル・報告者
09:00 09:25	(水産研究・教育機 構) 神山龍太郎	2-1. 産地市場の競争力と水産クラスターの役割ー気仙沼市の事例ー 小松朋子 (東京海洋大学大学院)・中原尚知 ・婁小波 (東京海洋大学)
09:25 09:50		2-2. 岩手県におけるワカメ養殖漁家の経営構造と特質ー大船渡市綾里地区を事例としてー 及川光 (岩手県水産技術センター)
09:50 10:15	(東京海洋大学) 猪又秀夫	2-3. ロンドン条約における魚礁等の配置の議論について 佐藤昭人 (不動テトラ)
10:15 10:40		2-4. 発酵食品としての水産物ー目的の遷移と国際比較ー 山下東子 (大東文化大学)
10:40 10:50	休憩	
10:50 11:15	(水産研究・教育機 構) 宮田勉	2-5. 水産缶詰の消費実態:国内消費者を対象としたアンケートから 神山龍太郎・世古卓也・橋本加奈子 ・石原賢司 (水産研究・教育機構)
11:15 11:40		2-6. 持続可能なカキ養殖経営のあり方ー岡山県邑久町漁協を事例としてー 川辺みどり (東京海洋大学)・金東泳 (株式会社ノースイ) ・中原尚知・婁小波 (東京海洋大学)
11:40 12:05		2-7. 地域水産業の競争から協働へー水産加工業の持続可能性の視点からー 木佐貫正博 (株式会社アール・ピー・アイ) ・小川美香子 (東京海洋大学)